

プラズマ・核融合学会誌

第92巻第1号

2016年1月

記事タイトルをクリックすると
本文PDFが開きます。

巻頭言	2016年の年頭にあたり	小森彰夫	1
解説	核燃焼プラズマ運転に向けたダスト研究の進展	増崎 貴	2
特集	トリチウム分離・濃縮技術		
	1. はじめに	山本一良	14
	2. 気相吸着を用いた水素同位体分離	古藤健司	15
	3. 深冷蒸留を用いた水素同位体分離	山西敏彦	21
	4. 環境分析のためのトリチウム電解濃縮	柿内秀樹	26
	5. 水-水素化学交換法による水素同位体分離	杉山貴彦	31
	6. 電解-水/水素同位体交換法を用いた汚染水からのトリチウム除去 竹下健二, 高橋秀治, 稲葉優介		39
	7. まとめ	山本一良	45
インフォメーション		48
	ITER だより ⁽⁵⁾		
	【会議報告】第17回核融合炉材料国際会議 (ICFRM-17)		
	【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar		54
本会記事		55
	第32回年会報告/第32回年会ポストデッドライン講演/ 第32回年会特別講演「プラズマ援用による新材料創成」/ 第32回年会若手学会発表賞選考結果の報告/学会賞募集のおしらせ		
編集後記			

表紙の絵

二色パイロメータを開発し、タンゲステン(W)材料へのELM様パルスプラズマ照射実験の材料温度計測に適用した。図は、磁化同軸プラズマガン装置(兵庫県立大学)におけるパルスプラズマ照射時のパイロメータ計測にむけたサンプルホルダの概略図を示す。プラズマや不純物の発光による熱輻射光計測への影響を抑えるために、薄板W材料(50 μm)の背面温度が5 μs の時間分解能で測定された。(Ikko SAKUMA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 10, 1205089 (2015) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル3F Tel: (03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。